

守山アクティブシニア倶楽部^{くらぶ}をご存じですか

守山アクティブシニア倶楽部の参加資格は 毎日をわくわくしながら暮らしたい 気持ちがあること

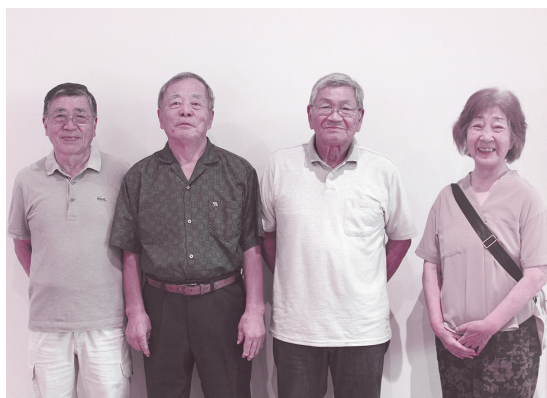


守山アクティブシニア倶楽部(市老人クラブ連合会)には、自治会の老人クラブで活動している会員と、個人で加入している会員がいます。

敬老月間(9月)にちなんで、いくつになっても元気で若々しく、活発に活動し、地域の人や会員同士の絆を深めている老人クラブを紹介します。

今回は、「岡町寿会^{ことろ}」の会員に話を聞きました。

楽しさ 地域貢献 助け合い 仲間たちとかなえる3つの願い



岡町寿会 左から、岩井 康則さん、松山 茂さん、
福島 義弘さん、中井 富美枝さん



寿会のみんなで花見会



園児と昔遊びで交流



畑のお手入れ「お助けマン」

インタビュー内容

約50年前に活動を始めた岡町の老人会は、平成26年に「岡町寿会」と名前を変えて、現在も楽しく活動しています。

現在の会員は、60～90歳代の76人です。60歳を過ぎて働いている人も多い一方で、年齢を重ねて外へ出にくくなったり、体力が衰えたりする人もいます。

そこで、寿会では「楽しさ」「地域貢献」「助け合い」の3つをかなえる活動をしています。

楽しさ 花見会など会員が集う行事のほか、会員以外も自治会の人なら誰でも参加できる、健康マージャンやカラオケなどのサークル活動をしています。

地域貢献 地域の神社の清掃や、園児との交流活動などを行っています。

助け合い 蛍光灯の交換、ごみ出し、庭木の剪定など、会員同士のちょっとしたボランティア「お助けマン」の活動をしています。

これらの活動を通じて、高齢者同士だけでなく、以前は交流がなかった自治会や子ども会の人とも顔見知りになり、挨拶や声かけができるようになりました。活動に誰かが欠席すると心配になるなど、お互いを気にかける仲間ができています。清掃中に、子育て世代から感謝の声をかけられることもあります。

活動を通じて、若い頃よりも多くの仲間や地域とのつながりができ、絆が強くなりました。寿会に入ってよかったと感じています。

これからも、地域に住む人同士で無理をせず、人が集まる方法を考えながら、ゆるやかに絆を深めていきます。